



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成31年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成31年2月8日(金)

事業名	自殺総合対策	予算(案)の概要	45 ページ
予算額	14,252 千円 (拡充) (前年度予算額 1,810 千円)		
取材先	健康部健康政策課長 中川 (電話 03-5273-3016)		

自殺対策の推進

区は、平成31年(2019年)3月策定予定の「新宿区自殺対策計画」に基づき、これまで取り組んできた、ネットワークの活用や相談支援体制の強化と併せて、新たに、区の自殺の実態を踏まえた取り組みを進め、誰も自殺に追い込まれることのない社会を目指します。

区の自殺の実態と施策

区における自殺の実態

- ・国や都に比べ、新宿区の自殺死亡率は高い。
- ・20歳代の自殺者数が一番多い。
- ・こころの問題について気軽に相談できる場所・窓口を知らない人が約6割を占める。

など

基本施策

- (1) 地域におけるネットワークの強化
- (2) 区民への啓発と周知
- (3) 様々な問題や悩みに応える相談体制の充実
- (4) 自殺対策を支える人材育成
- (5) 自殺未遂者や遺された人への支援

重点施策(区の自殺の実態を踏まえた取り組み)

- (1) **若年層への支援の強化**
- (2) 無職者・失業者・生活困窮者への支援
- (3) 高齢者への支援

数値目標

目標:自殺死亡率^{*}の減少

※自殺死亡率:人口10万人当たりの自殺者数

平成27(2015)年 **25.3**

2026年 **17.7以下**

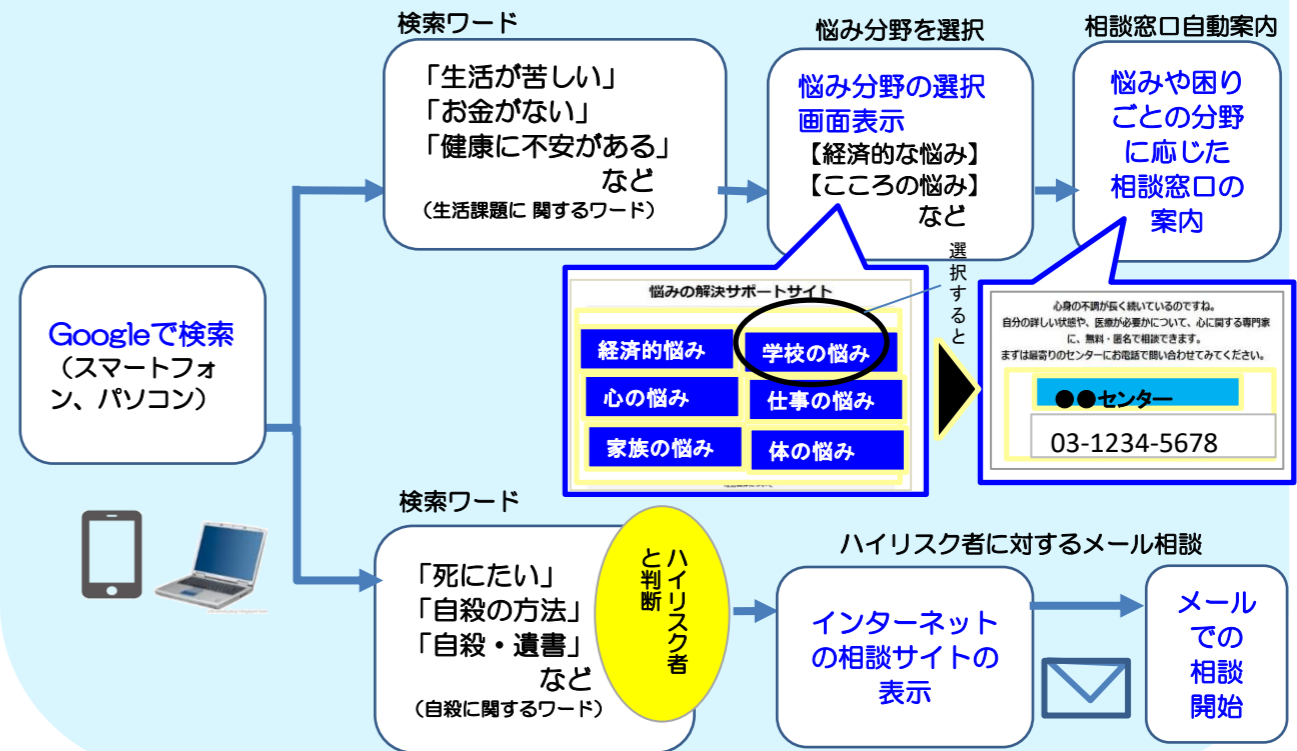
2026年までに自殺死亡率を、平成27(2015)年と比べて30%以上減少します。

若年層への支援の強化

1 相談窓口自動案内 及び ハイリスク者へのインターネットゲートキーパー事業

予算額 5,517千円

- インターネットで生活課題や自殺に関する言葉を検索した人に、連動広告を掲載し、最適な相談先を案内し、生活課題の解決を支援します。
- 自殺リスクの高い人に対しては、24時間メールで相談を実施し、自殺を未然に防止します。



2 若者自身が身近な相談者になる「ユースゲートキーパー」の育成事業

予算額 6,083千円

日常生活やSNS(ソーシャル・ネットワーキング・システム)でSOSの情報を受け取ることが多い若者(主に区内の大学生)を対象に、「自分をケアする力」と「同世代の悩み相談に応える力」を学んでもらい、若者同士が支えあえる環境を作ります。

養成講座

- ・大学の授業の一環として実施(500人以上)

ステップアップ

定着講座

- ・養成講座の受講者で、より深く学ぶことを希望する学生に実施

▶1年間で500人以上のユースゲートキーパーを育成